

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2000-5159(P2000-5159A)

【公開日】平成12年1月11日(2000.1.11)

【出願番号】特願平10-173487

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 6/03

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月20日(2005.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体に予め設定されたビュー角でX線を照射するX線源と、前記被検体を挟んで前記X線源と対向配置され前記被検体の透過X線を検出する多チャンネルX線検出器と、前記X線源と前記多チャンネルX線検出器を前記被検体の周囲に回転させ、その回転により多方向の透過X線を計測データとして前記多チャンネルX線検出器によって検出させるスキヤナと、前記検出された多方向の計測データから前記被検体の断層像を再構成する画像再構成手段と、を備えたX線CT装置において、前記X線源のビュー角と前記多チャンネルX線検出器のチャンネルとで規定された個々の計測データについてそのレベルを算出する手段と、この算出されたレベルの大きさに応じて前記計測データの補正の度合いを変更する手段と、前記変更された補正の度合いに応じて前記計測データを補正する手段とを備え、前記補正手段によって補正された計測データを前記画像再構成手段に再構成させることを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

前記計測データに隣接するデータを利用してその計測位置でのスムージングデータを算出する手段と、前記レベル算出手段によって算出された計測データのレベルの大きさに応じて補正用重み係数を算出する手段とを更に備え、前記補正手段は前記スムージングデータと前記重み係数とを利用して前記計測データを補正することを特徴とする請求項1に記載のX線CT装置。